

姉妹都市提携への道のり

最も近くて新しい姉妹都市・大田

隣国として多層的な交流を重ねてきた日本と韓国。その象徴である2002年W杯では、札幌・大田の両地で熱戦が繰り広げられました。

近年、両市の交流はさらに加速しています。特に、新千歳と清州を結ぶ直行便の就航は、札幌と大田の物理的な距離を劇的に縮めました。

現在、札幌には韓国から多くの観光客や留学生が訪れ、様々な場面で草の根の交流が生まれています。



調印までの歩み



国際プラザが主催した大田未来プロジェクト
(2003年)

両市の交流は、2003年に共通の姉妹都市であるロシア・ノボシビルスク市の開基110周年記念事業において、大田広域市長から札幌市との姉妹都市提携の提案があったことが始まりです。

札幌市と大田広域市は、都市の規模や産業構造など多くの共通点があることから、大田広域市長の提案を皮切りに、2004年には「経済交流の促進のための覚書」が結ばれたほか、青少年や芸術・文化など様々な分野で盛んに交流が行われました。



札幌市役所のロビーで開催された韓国の彫刻家による
作品展(2010年)

2009年11月、札幌市議会日韓友好を進める有志の会、在日本大韓民国民団北海道地方本部、札幌日韓友好親善協会が、大田広域市と姉妹都市提携を求める要望書を提出し、2010年6月には札幌国際プラザが発起人となり、札幌商工会議所や札幌日韓友好親善協会などから成る「札幌・大田姉妹都市交流推進連絡会」を設置しました。



姉妹都市提携調印式の様子(2010年)

こうして、姉妹都市提携に向けた機運が高まるなか、2010年9月の札幌市議会第3回定例会において、「札幌市と大田広域市との姉妹都市提携に関する決議」が、全議員提出により決議されます。2010年10月22日に、札幌の地で両市長が調印を行い、姉妹都市提携が実現しました。札幌市にとって実に20年ぶり、5番目の姉妹都市が誕生した瞬間でした。

札幌・大田 交流回顧録

2009年（平成21年）

- 11月・在日本大韓国民団北海道地方本部の金団長が札幌市役所を訪れ、上田市長に札幌市と大田広域市との姉妹都市提携を要請。
- ・「札幌市議会日韓友好を進める有志の会」韓国訪問団が釜山広域市と大田広域市を訪問し、関係者と交流を行った。帰国後、韓国の都市との早期の姉妹都市提携に関する要望書を提出。



有志の会による要望書提出

2010年（平成22年）

- 2月・大田広域市の国際諮問大使を団長とする訪問団が来札、札幌国際プラザにおいて大田広域市を知るセミナーの実施や、さっぽろ雪まつり会場に大田広域市PRブースを出展したほか、国際雪像コンクールに大田広域市代表として同市在住の彫刻家が参加した。



国際諮問大使による表敬訪問

- 5月・小澤副市長を団長とする訪問団が大田広域市を訪問、大田広域市役所ロビーにて札幌市を紹介するパネル展を開催するとともに、札幌市のパンフレットやさっぽろスイーツを来場者に配布するなど、札幌市のPRを行った。



大田広域市役所で行われたパネル展のテープカット

- 6月・韓国の全国彫刻家協会から28名が来札。札幌市役所1階ロビーにて、室内彫刻44点を展示した。また、訪問団と札幌在住の芸術家との文化交流を深めるため、札幌文化団体協議会の彫刻家と交流を行った。
- 7月・上田市長を団長とする訪問団が大田広域市を訪問。年内における姉妹都市提携について合意する旨の覚書を締結した。また、市立札幌旭丘高校、円山動物園等関係団体が、姉妹団体の提携に向けた確認を行った。



姉妹都市提携に合意する旨の覚書の締結

- 9月・平成22年度札幌市議会第3回定例会において「札幌市と大田広域市との姉妹都市提携に関する決議」が、全議員提出により決議された。
- 10月・ヨム・ホンチョル市長を団長とする大田広域市訪問団が来札。札幌市内において、両市市民の見守る中、両市長が姉妹都市提携の盟約書に調印。この姉妹都市提携にあわせ、市立札幌旭丘高校と大田外国語高校が姉妹校提携を結んだほか、現在の公益財団法人札幌国際プラザが社団法人国際交流文化院及び大田観光公社と、それぞれ交流協定及び覚書の締結を行った。



姉妹都市提携調印式の様子①



姉妹都市提携調印式の様子②

- 11月・札幌市消防局の招待により、大田広域市消防局が札幌市の消防施策に関する研修を受けるため来札。
- 札幌市観光文化局及び札幌国際プラザコンベンションビューローの関係者が大田市において、一般市民向けの観光PRを行った。また、札幌国際プラザコンベンションビューローは、ソウルにおいて開催された「KOREA MICE EXPO」に大田コンベンションビューローと共同出展を行った。
- 12月・大田広域市生活体育委員会及び障がい者体育会の関係者が来札、札幌市スポーツ部と札幌市障害スポーツ振興協会と今後の交流に向けた協議を行った。

2011年（平成23年）

- 2月・第62回さっぽろ雪まつり開催にあわせ、大田広域市選出の国会議員をはじめとする100名を超える訪問団が来札。大田広域市の観光PRパネル展を行ったほか、大田広域市の街並みを再現した大水像を制作した大通会場5丁目の開会式にも出席。



大通会場5丁目の開会式

- ・2010年10月提携時、ヨム・ホンチョル市長が立ち寄った元気カフェの取組を取り入れた「健康カフェ」を大田広域市役所1階にオープンした。
- 5月・第1回目の札幌-大田職員合同短期研修を実施し、大田広域市職員4名（文化・スポーツ関係）の受入れを行い、札幌市観光文化局長を訪問したほか、豊平館や札幌コンサートホール Kitara 等を視察した。
- 6月・職員相互派遣研修として、札幌市の宮岡完職員（係長職）1名を大田広域市役所に研修派遣。（～2013年3月まで）
- ・コンサドーレ札幌が、大田広域市において、大田シチズンとの親善試合を実施した。
- 7～8月・札幌市子ども未来局の姉妹都市少年交流事業として、ノボシビルスク市と大田広域市の少年少女が来札し、市内の同世代の学生と文化体験等の交流プログラムを実施した。
- 8月・国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流事業の一環として、大田広域市の中学女子バレーチーム（10名）が来札し、札幌市立中島中学校の生徒と親善試合や交流を行った。
- ・職員相互派遣研修として、大田広域市のソン・フンシク職員（工業事務官）1名を研修職員として受入。（～2013年6月まで）
- 9月・札幌-大田職員合同短期研修の一環として、札幌市職員2名（観光文化局・札幌市芸術文化財団所属）を派遣、博物館等の視察や、今後の文化交流について協議を行った。

- ・ソウル市で行われた「日韓交流おまつり2011 in Seoul」に、札幌市観光文化局が大田広域市と共同でPRブースを出展、来場者に姉妹都市の周知や両市の観光資源のPRを行った。

- 10月・「さっぽろオータムフェスト2011」に大田広域市との交流をPRするブースを出展。



「さっぽろオータムフェスト」に大田広域市PRブースを出展

- ・札幌マラソン大会に大田広域市より選手3名が参加。
- ・姉妹都市提携1周年を記念する訪問団約100名が大田広域市を訪問、孝文化祭り祭りの参加やハンパツ樹木園での記念植樹など、現地での記念事業に参加した。
- ・「姉妹都市記念映像制作事業」として、札幌市の映像制作業者が大田広域市において、街並みや生活風景の撮影、大田広域市長のインタビューなどを実施した。
- 11月・大田広域市で開催された「日韓露科学都市共同シンポジウム」に、3都市の学識関係者らが参加。札幌市からは、札幌市立大学の教授2名が出席して発表を行ったほか、パネルディスカッションに参加した。



ハンパツ樹木園での記念植樹

2012年（平成24年）

- 2月・キム・ジョンデ大田-札幌姉妹都市委員会委員長をはじめとする市民訪問団50名程度と大田広域市役所関係者が札幌市を訪問。さっぽろ雪まつりの会場特設ブースにて、大田広域市の観光PRを実施するなどした。
- ・「姉妹・友好都市青少年未来プロジェクト事業」に、瀋陽市（9名）と大田広域市（8名）から大学生が参加し、市内の大学生（13名）と合宿形式のセミナーを実施した。
- 3月・大田広域市長からのご招待をうけ、札幌市子ども未来局の大田広域市少年交流事業として、札幌市の少年少女10名を大田広域市に派遣し、ホームステイをしながら現地の学校を訪問するなどの交流事業を実施した。

- 5月・大田広域市で開催された「第35回 WACS（世界司厨士協会連盟）世界会議」に上田市長以下札幌市訪問団が参加し、参加者に向けて北海道・札幌の食や食文化のPRを行ったほか、大田広域市長表敬訪問などを実施した。
- 6月・イ・サンテ議長をはじめとする大田広域市議会訪問団8名が来札し、YOSAKOIソーラン祭りを視察したほか、札幌市議会議長表敬訪問などを実施した。
 - ・札幌―大田職員合同短期研修の一環として、大田広域市職員1名（経済関係）の受入れを行い、札幌市経済局で研修を受けたほか、北洋銀行にて地方銀行の役割等について説明を受けた。
- 7月・北海学園大学と大田大学が実施する地域コミュニティに関する共同研究の一環として、北海学園大学において国際シンポジウムを開催するにあわせてヨム・ホンチョル市長が来札し、北海学園大学において大田広域市の福祉政策等に関する特別講義を実施した。
 - ・札幌市子ども未来局の姉妹都市少年交流事業として、7月27日から8月3日の8日間、札幌市の少年少女10名がノボシビルスク市を訪問した。
- 8月・札幌市の中体連のチーム（中学生16名）が、大田広域市において開催されたサッカーの親善大会に参加した。同市の姉妹友好都市であるノボシビルスク市や中国・済南市、南アフリカ・ダーバン市の中学生と、試合や文化体験などを通じて交流を深めた。なお、大会は札幌チームが全勝し優勝を果たした。
- 10月・札幌―大田職員合同短期研修の一環として、札幌市職員3名（子ども未来局所属）を派遣、大田広域市の子育て福祉施策に関する説明を受けたほか、青少年保護施設の視察などを行った。
 - ・大田広域市で開催された「大田国際フード&ワインフェスティバル」に生島副市長以下札幌市訪問団が参加し、開会式への出席や会場視察などを行った。同時に開催された「ワインと飲食産業展」には、札幌市から2社（コンチネンタル貿易株式会社、株式会社Kカンパニー）が出展し、札幌の酒などを出品した。

2013年（平成25年）

- 2月・第64回さっぽろ雪まつりの開催にあわせ、ヨム・ホンチョル市長をはじめとする70名を超える訪問団と、クァク・ヨンギョ議長団5名が来札。雪まつりに参加したほか、札幌市の除雪体制などについて視察を行った。
- 3月・職員相互派遣研修として大田広域市に派遣している札幌市の宮岡完職員（係長職）の研修期間が満了、帰国した。
- 5月・大田広域市にあるTJB（大田放送）がHTB（北海道テレビ放送）との友好協力関係を強化するために来札した折に、生島副市長を表敬訪問した。
- 6月・札幌市で受入れている大田広域市のソン・フンシク職員（工業事務官）が研修期間を2014年6月まで延長。
- 7~8月・札幌市子ども未来局の姉妹都市少年交流事業として、7月29日から8月2日の5日間、札幌市の少年少女10名が大田広域市を訪問した。
- 10月・秋元副市長をはじめとする訪問団（4名）及び「札幌国際親善の集い」訪問団が、大田広域市で開催された「大田フード&ワインフェスティバル」と「世界市民交流ハンマダン祭り」に参加するため大田広域市を訪問した。



「世界市民交流ハンマダン祭り」の開会式

- 11月・北海道大学にて、大田広域市とノボシビルスク市との「3姉妹都市共同科学シンポジウム」を開催。大学研究者や行政関係者等が集まり、それぞれのエネルギー事情や方向性等の情報を共有したほか、低炭素社会の実現と再生可能エネルギーの役割等、今後の北海道における持続可能な社会構築について議論した。
 - ・札幌―大田職員合同短期研修の一環として、大田広域市職員4名（経済関係）の受入れを行い、札幌市環境局及び観光文化局にて研修を受講した。

2014年（平成26年）

- 2月・第65回さっぽろ雪まつりの開催にあわせ、キム・インホン政務副市長をはじめとする行政関係者や市民訪問団など、40名を超える訪問団が来札。雪まつりに参加したほか、札幌市の危機管理体制を学ぶため、無線統制室や災害備蓄庫の視察を行った。
 - ・札幌国際プラザと大田国際交流センター（現・大田広域市外国人住民統合支援センター）が姉妹団体としてのMOUを締結。



交流協定書調印式の様子

- 3月・札幌―大田職員合同短期研修の一環として、札幌市職員2名（経済局所属）を派遣、韓国電子通信研究院や大田広域市役所の視察などを行った。
- 6月・札幌市で受け入れしていた大田広域市のソン・フンシク職員（工業事務官）の研修期間が満了、帰国した。
- 7月・札幌市囲碁同好会が大田広域市を訪問し、大田広域市囲碁同好会と交流対局などを行った。
- 8月・札幌市子ども未来局の姉妹都市少年交流事業として、8月2日から8月7日の5日間、大田広域市及びノボシビルスク市から少年少女各10名を札幌市に受け入れ、交流プログラムを実施した。
- 9月・大田広域市自転車同好会が札幌市を訪問し、札幌市サイクリング同好会と交流。また、札幌市の概要や自転車施策について説明及び視察を行った。



大田広域市自転車同好会一行

11月・ユネスコと大田広域市が共催した、「大田世界革新フォーラム」への招待を受け、出井国際部長が大田広域市を訪問した。

2015年（平成27年）

- 2月・第66回さっぽろ雪まつりの開催にあわせ、パク・チュンヒ政務副市長一行5名が来札。雪まつりに参加したほか、大倉山や中央図書館などの視察を行った。
- 5月・韓国総領事館主催の日韓国交正常化50周年記念公演のPRブースにて、大田広域市のパネル展や大田広域市の魅力PRを行った。
- 7~8月・札幌市子ども未来局の姉妹都市少年交流事業として、7月28日から8月3日の7日間、札幌市と大田広域市の少年少女がノボシビルスク市を訪問した（札幌市の参加者は8名）。

2016年（平成28年）

- 1月・大田広域市囲碁同好会が「2016年大田市・札幌市囲碁交流イベント」に参加するため来札。町田副市長を表敬訪問した。
- 2月・第67回さっぽろ雪まつりの開催にあわせ、大田広域市のパク・チュンヒ政務副市長一行5名が来札。雪まつりに参加したほか、藻岩山や札幌ドームなどの視察を行った。
- 7~8月・札幌市子ども未来局の姉妹都市少年交流事業として、7月28日から8月1日の5日間、札幌市とノボシビルスク市の少年少女が大田広域市を訪問した（札幌市の参加者は10名）。
- 10月・韓国自閉障がい者愛協会テジョン支部訪問団が来札し、市内の障がい者就労施設の視察等を行ったほか、都市長室長への表敬訪問も行った。
 - ・大田広域市ハッカ小学校のパク・ジョンシク校長が来札。かねてから学校間交流に向けて協議をしていた札幌市立大倉山小学校を訪れ、同校の類家斉校長と将来的な姉妹校提携に向けた交流促進について同意書を交わした。

2017年（平成29年）

- 2月・第68回さっぽろ雪まつりの開催にあわせ、大田広域市のクォン・ソンテク市長が市長就任後初めて来札し、雪まつり会場や大倉山ジャンプ競技場などを視察したほか、札幌国際プラザにて、両市共催の「大田の夕べ」を開催し、参加した市民に向けて大田広域市の魅力PRを行った。



「大田の夕べ」にて大田広域市の魅力をPR

- 3月・民間交流の一環として、韓国音楽協会大田市部と札幌音楽家協会による合同演奏会を札幌大谷大学で開催するにあたり、韓国音楽協会大田市部会長らが都市長室長を表敬訪問した。
- 7月・札幌市子ども未来局の姉妹都市少年交流事業として、7月14日から18日の5日間、大田広域市とノボシビルスク市の少年少女が札幌市を訪問し、ホームステイや文化体験を通して交流を行った。
- 9月・「2017年アジア・太平洋都市サミット（APCS）&市長フォーラム」に出席するため、岸副市長以下札幌市訪問団が大田広域市を訪問。滞在中は、APCSの会議に参加したほか、札幌市立大倉山小学校の類家斉校長とともに大田広域市ハッカ小学校を訪問し、姉妹校提携調印式を行った。



大倉山小学校とハッカ小学校による姉妹校提携調印式の様子

2018年（平成30年）

- 2月・第69回さっぽろ雪まつりの開催にあわせ、大田広域市のソン・チョルウン政策企画官ら3名が来札。雪まつりに参加したほか、札幌ドームや大倉山ジャンプ競技場などの視察を行った。また、札幌市都心まちづくり課から札幌のまちづくりに関する説明を行った後、両市のまちづくり政策について意見交換を実施した。
- 7月・大田広域市CNCITY社と北海道ガスが事業交流を実施。寒冷地である北海道のエネルギー活動の紹介や、石狩基地の見学などを行った。
- 7~8月・札幌市子ども未来局の姉妹都市少年交流事業として、7月29日から8月9日の12日間、札幌市と大田広域市の少年少女がノボシビルスク市を訪問した（札幌市の参加者は10名）。
- 11月・大田ろうあ者協会が札幌聴覚障害者協会との交流協定を締結するために札幌市を訪問し、岸副市長を表敬訪問した。

2019年（令和元年）

- 2月・第70回さっぽろ雪まつりの開催にあわせ、大田広域市のパク・ヨンスン政務副市長ら4名が来札。雪まつりに参加したほか、大倉山ジャンプ競技場や円山動物園などの視察を行った。
- 6月・札幌市の町内活動や市民活動促進に向けた取組を学ぶため、大田広域市のチョイ・シボク共同体支援局長ら7名が来札し、町田副市長への表敬訪問を行った。
- 8月・札幌市子ども未来局の姉妹都市青少年交流事業として、8月1日から8月5日の5日間、札幌市とノボシビルスク市の青少年が大田広域市を訪問した（札幌市の参加者は10名）。

2020年（令和2年）

- ・第71回さっぽろ雪まつりの開催にあわせ、大田広域市のキム・ジェヒョク政務副市長ら4名が来札。雪まつりに参加したほか、大倉山ジャンプ競技場や札幌ドームを視察を行った。また、姉妹都市提携10周年に関する協議を実施した。

2021年（令和3年）

- 11月・札幌市立明園中学校と大田広域市シンタンジン中学校がオンライン学校交流を実施し、お互いの国の文化紹介などを行った。
- 12月・札幌市立大倉山小学校と大田広域市ハッカ小学校がオンライン学校交流を実施し、お互いの学校紹介やYOSAKOIソーランの発表などを行った。
- ・それぞれが姉妹友好都市である札幌市、大田広域市、瀋陽市、ノボシビルスク市の児童によるオンライン学校交流を実施。札幌市からは札幌市立大倉山小学校が参加し、各都市児童によるダンスや楽器演奏などの発表を行った。



大倉山小学校の児童がダンスを披露

2022年（令和4年）

- 10月・札幌市立澄川西小学校と大田広域市ドンサン小学校がオンライン学校交流を実施し、お互いの学校や文化の紹介などを行った（11月に2回目の交流を実施）。
- 11月・札幌市立平岸中学校と大田広域市ウソン中学校がオンライン学校交流を実施し、音楽やアニメなどの趣味を紹介し合った。

2023年（令和5年）

- 2月・第73回さっぽろ雪まつりの開催にあわせ、大田広域市のイ・ジャンウ市長ら16名が来札。雪まつりに参加したほか、藻岩山を視察などの視察を行った。
- ・オンライン学校交流をきっかけとして、札幌市立澄川西小学校と大田広域市ドンサン小学校が姉妹校提携を締結。ドンサン小学校のパク・ジョンヨン校長が来札し、澄川西小学校にて姉妹校締結式を行った。



澄川西小学校とドンサン小学校による
姉妹校提携締結の様子

- 8月・秋元市長をはじめとする訪問団（5名）が、大田広域市で開催された「大田0時祭り」に参加するため大田広域市を訪問。開会式に出席したほか、大田コンベンションセンターなどを視察した。また、両市の市民を対象として、相手都市を訪問した際に観光施設等を割引料金で利用できる「姉妹都市間民間交流活性化に関する協定」を締結した。



「大田0時祭り」の開会式



「姉妹都市間民間交流活性化に関する協定書」
締結の様子

- 11月・札幌開成中等教育学校と大田広域市チョンラン女子高校がオンライン学校交流を実施し、お互いの学校紹介やディスカッションなどを行った。

2024年（令和6年）

- 2月・第74回さっぽろ雪まつりの開催にあわせ、イ・ジャンウ市長をはじめとする市長訪問団や大田広域市立舞踊団など、70名を超える訪問団が来札。雪まつりに参加したほか、サッポロファクトリーのアトリウムにて大田広域市立舞踊団が公演を行った。



大田広域市立舞踊団による公演

- 5月・大田広域市にて開催された第20回三大河川マラソン大会に、札幌市より選手4名とスポーツ局職員1名が出場した。
- 8月・天野副市長をはじめとする訪問団（4名）が、大田広域市で開催された「大田0時祭り」に参加するため大田広域市を訪問。開会式に出席したほか、大田広域市外国人住民総合支援センターなどを視察した。
- 10月・札幌マラソンに大田広域市より選手4名が出場したほか、札幌市スポーツ局やスポーツ協会関係者と交流を行った。
- 11月・札幌市立八軒東中学校と大田広域市シンタンジン中学校がオンライン学校交流を実施し、各国の文化や都市の紹介などを行った。
- ・札幌市立元町中学校と大田広域市シンタンジン中学校がオンライン学校交流を実施し、流行っている言葉の紹介などを行った。

2025年（令和7年）

- 2月・札幌国際プラザと大田観光公社が、MICE誘致に関する情報共有や共同PRの強化に向けて「MICE発展のための覚書」を締結した。
- ・第75回さっぽろ雪まつりの開催にあわせ、ユ・ドゥグォン行政副市長ら5名が来札。雪まつりに参加したほか、大和ハウスプレミストームなどを視察した。また、雪まつり会場にて大田広域市が大田観光公社と共同で雪まつり会場9丁目にブースを出展。ブースでは、大田広域市の観光プロモーションのほか、姉妹都市提携15周年記念写真展も設置し、姉妹都市提携15周年の歩みを写真で回顧した。



姉妹都市提携15周年記念広報館

- ・札幌国際プラザ主催の「札幌・大田姉妹都市提携15周年記念 第45回韓国を知るセミナー」が開催され、韓国国際交流員が参加者に大田広域市の魅力や札幌市との関わりについて紹介した。

- 4月・大田広域市にて開催された第21回三大河川マラソン大会に、札幌市よりスポーツ局職員1名が出場した。

- 8月・秋元市長をはじめとする市長訪問団（7名）、経済訪問団、議会訪問団及び青年訪問団が、大田広域市を訪問。現地では、市内視察や現地企業との経済セミナー・ビジネス交流会を開催したほか、「大田0時祭り」の舞台では、青年訪問団として渡航した北星学園大学の演舞同好会～廻～のメンバー10名がよさこいソーランの演舞を披露した。



北星学園大学～廻～によるYOSAKOIソーランの演舞

- ・韓国総領事館主催の「北海道で出会う大田」が開催され、韓国国際交流員が参加者に札幌市における大田広域市との姉妹都市交流について紹介した。

- 10月・札幌市立柏中学校と大田広域市イムン高校がオンライン学校交流を実施し、姉妹都市提携15周年記念セレモニーを行い、両市より記念品贈呈などを行ったほか、お互いの都市紹介などを行った（9月と11月にも1回ずつ交流を実施）。

- 11月・札幌市子ども未来局の姉妹都市少年少女交流として、11月1日から11月4日の4日間、大田広域市の少年少女10名を札幌市に受け入れ、交流プログラムを実施した。

2026年（令和8年）

- 2月・第76回さっぽろ雪まつりの開催にあわせ、大田広域市のイ・ジャンウ市長をはじめとする市長訪問団、経済訪問団など、60名を超える訪問団が来札。雪まつりに参加したほか、経済交流会や札幌・大田姉妹都市提携15周年記念レセプションを開催するなどした。



15周年記念レセプションの様子

大田広域市との交流事業

姉妹・友好都市オンライン学校交流（総務局国際部・教育委員会）

時差がない特性を生かして、毎年、両市の小中高等学校をマッチングしてオンラインで交流する事業を2021年度から開始しました。コロナ禍においても交流を継続し、両市の学生たちが互いの都市や文化について紹介するなどして交流を行っています。

2025年度は札幌市立柏中学校と大田広域市イムン高校をマッチングし、全3回にわたってオンライン交流を実施しました。



姉妹都市少年少女交流事業（子ども未来局）



共通の姉妹都市である札幌市、大田広域市、ノボシビルスク市の3都市間で、少年少女を派遣し、交流事業を通じて相互理解と友好親善を深め、国際的視野の広い少年少女の育成を図ることを目的として実施しています。

2025年度は大田広域市の少年少女が札幌市でホームステイを経験し、文化体験や市内視察などを通じて友好を深めました。

マラソン交流（スポーツ局）

2024年に大田広域市で開催された三大河川マラソン大会と札幌マラソンに選手団等を相互派遣し、ランナー同士の交流や市内視察などを実施しました。

2025年は、4月に大田広域市で開催された三大河川マラソン大会に札幌市スポーツ局職員等が参加しております。

